

デイサービス ひろがりサロン

第10号

発行日 : 2011年9月12日
発行回数 : 年2回発行
発行者 : デイサービスひろがりサロン
責任者 : 藤平 洋子
連絡先 : 045-962-2226
活動場所 : 横浜市鴨志田地域ケアプラザ
2階多目的ホール

-----活動概要-----

活動日時 : 月曜日 10時～15時30分
料金 : 利用料 800円
食事 : 500円 (昼食・おやつ)
その他 : 介護保険とは関係なく利用できます

いっしょに遊ぼう

高山 好主

東日本震災の被害に会われた方々にお見舞い申し上げます。又、自分は何もなくとも親戚、友人が被害があった方々も多いと思います。個人的なことでは、親戚の家が傾いてしまいました。が、怪我などの被害はありませんでした。

三月十一日、地震の時、鴨志田緑小学校でも児童が帰宅するのに混乱したとのことです。又、児童が家に帰っても家族が夜遅くまで帰って来ることが出来なかった人もいたそうです。

この様な時に、役立つのが地域近隣の助け合いだと思います。遠くの親戚より近くの他人です。近頃では近所付き合いが少なくなり、近隣にどのような人が居るかわからなくなってきました。ですがお互いに程々の距離で付き

合うのが必要だと思います

今年から、自治会の役員を引き受け、どうしたら非常時に対応が出来るだろうかと考えますが、簡単には良い案が浮かびません。災害時には避難所も開設されるとありますが互いに見知った人同士ならばうまく運営できるでしょうが何も知らない人同士では意思疎通がうまく行かず限られたことしか出来ないでしょう。

何かあった時には互いに気をつけて「どうしましたか？」など声を掛け合いましたらどうでしょう。



2011年度 活動予定

2011年/ 9/5, 12, 26

10/3, 10, 24, 31

11/7, 14, 28

12/5, 12, 26

2012年/ 1/9, 23, 30

2/7, 13, 27

3/5, 12, 26

私の出来る事

伊藤 節子

くり過ごされる。三時のおやつを頂いて、お迎えの車が来ると「また来週」笑顔で帰られる。

「月曜日は仕事お休み？」「時々交替で出勤もあるけど、お休み」

「そう、良かったら五百円持って

ケアプラザに九時に来て！」詳しい話

も聞かないまま、次の月曜日ケアプラザへ出かけました。

いろいろな教室があるんだなあとキョロキョロ。なんとなく様子

子がわかってきた。デイサービスのお手伝い？

「おはようございます」キッチンでは担当の方が昼食の用意、

他のスタッフはテーブルを並べたりお茶の用意。皆さん手際よ

い。私は何をしたら良いのかしら・・・。準備が出来たところ

で朝のミーティング。「今日からお手伝いさせていただきます」

ちよつと緊張。十時を過ぎると利用される方々が一人又一人。

午前中はお茶を飲みながら歓談、体操の後は昼食、献立もバ

ラエティ。午後は散歩される方、将棋などを楽しむ方あり、ゆっ

想いに寄り添う

若松 妙子

数年前、広島から叔母が上京し、私にある場所に付き合っ

てほしいと云われた。久しぶりの同窓会出席が目的だった様だが、

私は喜んでお供をした。

私にとつての叔母とは、厳しい辛口のピアノの先生でもあ

った。仮病して休んだり、私の苦

手な叔母でもあった。

お供をしたところは、両国の東京都慰霊堂。私には初めて

だった。東京大空襲の時、この近くで保育の仕事を手伝っていた

と話していた。当時の体験は想像を絶するに違いなく、私が当

時の写真等を見ている間、叔母は人に尋ねたり、歩いて何かを

確認している様だった。叔母の兄（私の父）が、電報を打ち、迎

えに来てくれたとの話は私も父から聞いていなかった。父は叔

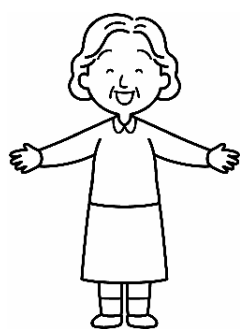
母をととても可愛がっていた様だった。聞かなければ分らないも

んだなあ、と和んだ。夕方、同

窓会の場所、六本木まで見送ったが、その後姿は小走りで少し嬉しそうに見えた。遠く広島から、参加した叔母に皆さん驚かれていたようだった。

叔母の上京にはある大きな意志があつたのだろうと思つてゐる。私流の回想法の実践、と自己満足したものです。

今八十四才の叔母は一人暮らしだが、時々電話をかけてくる。二十年後？私も叔母と同じような体験が出来るだろうか。思ひ出を語れる場（人）あるって幸せだと思つています。



ひろがり歌壇

梅田 ひさ子

今日明日と眺むる景色かわらねど
見つむる心の移りかはりて

折角に入れ歯作るも違和感を
覚へてはづし又嵌める日々



二回目の世界一周

アフリカの AK47

高山 好主

今回はアフリカに関して、元朝日新聞記者の松本仁一さんのお話がありました。その話の中から書きます。

いわゆる先進国はアフリカ諸国に莫大な軍事援助をしています。その兵器の一部が民間に流れ出しています。

その代表例が AK47 という小銃です。性能はそこそこですが一般的な兵士が使用する銃として充分な物です。軽くて扱いや

すいたため子供でも使用することが出来ます。そのため子供兵士が出現しています。

子供が兵士になると一般的な教養を覚える前に兵士としての殺戮や残虐な行為を学習してしまい、兵士をやめても一般社会に復帰できなくなります。

民族対立や子供兵士の問題は何か一つのことを行うと解決できると言う問題でなく時間をかけた社会教育が必要になると思います。我々も何十年単位の援助を行う必要があるのでしょうか。

レストランでフレンチ

小椋 純子

五月二十三日、青葉台フォーラムのレストラン、ラ・ポワールで外食会を行いました。このレストランを利用するのは、昨年に続き二度目です。

当日は、いつも通りケアプラザに十時に集合、体操もして一時三十分にはタクシーに分乗して出かけました。

昨年と違う点は、タクシーの他に、介護タクシーを二台利用したことです。介護タクシーは、車椅子に乗ったままリフトで乗降できるので、車椅子の方は乗り降りが楽だったと思います。一台に車椅子の方が二名、座席に七名、合計九名乗車できました。

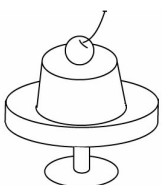
さて、お楽しみ料理は、サラダ、魚料理、肉料理、パンまたはライス、デザート、ドリンク

ク付きのコースです。皆さん、胸元をブローチで飾ったり、いつもより少しお洒落ないでたち、ピアノの生演奏もあり、どのテーブルも楽しい会話と笑顔に包まれて、華やいだ雰囲気ランチタイムでした。三十四名の参加者は皆、お腹も気分も大満足だったことと思います。

この外食会、実は三月に計画していたのですが、東日本震災の影響で延期し、二ヶ月遅れでようやく実現しました。

震災では多くの事が起き、被災された方々のことを思うと本当に胸が痛みます。そして命の重さ、家族、友だち、仲間の大切さを改めて知らされました。何もできない自分がもどかしいけれど、皆さんとの絆に感謝し、今を大事にしていこうと思います。一日も早く

日本が平和になりますように。



竹の秋 竹の春

木村 孝

今年の桜の満開は、例年より約一週間遅く、四月十日頃でした。

その時季、恩田川を高瀬橋まで約二キロ歩きます。兩岸から川の流れに覆いかぶさる桜は、それは本当に見事の一言です。

竹の子も桜と同じ例年よりやや遅く四月の上旬から、中旬頃に採れだしたようです。それは三月中旬から四月中旬にかけての低温と雨が降らなかったのが原因と思われる。

すでに周りの木々は新緑に包まれています。五月の下旬頃になるとその新緑の中に、ところどころに竹の紅葉が始まります。

電車の利用は、こどもの国線で、電車の到着を待つ間、ホームからこどもの国の森を眺めます。それはすぐ分かります。緑一色のなか紅葉と言っても、綺麗な黄色ではなく、薄い茶色がところどころに現れます。

竹林の小道を散歩するのが好みて、こどもの国線恩田駅の向かい側の丘陵、こどもの国園内の外周道路をよく散策します。

さて首題の竹の秋、とは五月中旬頃から六月にかけて、竹の子が親竹をしのぎ、十メートル余「孟宋竹」に生長した頃、親竹に落葉が始まります。それを竹の秋と言います。でも若竹は親竹を凌ぐほどに成長しても、一年位までは若竹の節のすぐ下にはつきりと白いテープでも巻いたように一センチ位の線が入っており、親と子の見分けがつかれます。

その後、七月下旬頃、親竹に新しい葉が芽ぶきます。この頃を竹の春と言います。

若竹色、やがて青竹色、歳月を重ねて灰色が混じり老竹色に変わって行く、数年から十年位で間引かれるとか、私はこの繰り返しが人生と同じだと思いません。

ホームページ は次のところにあります。

http://aoba-portal.net/group/hirogari_salon/
(「ひろがりサロン」で検索しても見つかります。)

* 編集後記 *

* 会報「ひろがりサロン」の十号が皆さんの協力で出来ました。七月に発行する予定が一ヶ月以上遅れました。編集子の作業遅れでした。お詫びします。

* 三月十一日の地震

当日、ケアプラザでもエレベーターが止まりました。ひろがりサロンを開催している時でなく我々は安心でした。しかし、地震はいつ来るかわからないのでどのようにしたら良いか考えておきましょう。

(高山)

ひろがりサロンは

「あおばふれあい助成金」
「年末たすけあい配分金」
「青葉区善意銀行配分金」
を受給して活動をしています。